

令和 7 年度 概算要求内容

5. まちづくりDX

(2) スマートシティの実装化および海外展開の推進

スマートシティ実装化支援事業 補助 2.5億円(1.01倍)

スマートサービス海外展開調査 調査 0.3億円(1.00倍)

AIや3D都市モデルを含めたデジタル技術の活用により都市の諸課題を解決し、新しい価値を創出する「スマートシティ」を実現するため、先進的な都市サービスの実証事業として、特に、国として戦略的に取り組む政策分野のスマートシティ施策を重点的に支援する。

また、デジタル技術等の活用は、海外における都市課題に対しても全体最適化が図れる方策と考えられるところであり、日本企業の海外展開を推進するため、データ・デジタル技術を活用した海外における都市開発の展開手法の調査を実施する。

スマートシティ実装化支援事業

■ 事業概要

○スマートシティ実行計画に基づく先端技術等を活用した先進的な都市サービスの実装化に向けて取り組むコンソーシアム※の実証事業を支援。

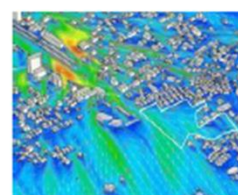
※民間事業者・地方公共団体を構成員に含む団体

○令和5年度に、早期に実証からまちへの実装までを一体的に実施する事業を重点的に支援する「都市サービス実装タイプ」を創設。

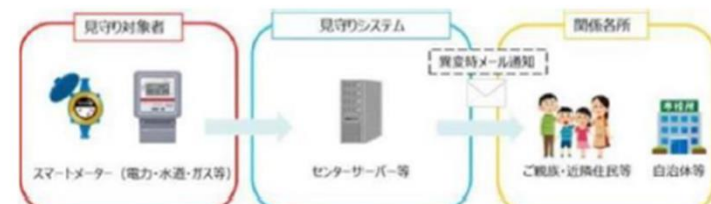


■ 戦略的スマートシティ実装タイプの創設

国として戦略的に取り組む政策分野のスマートシティ施策の開発・実証・実装を重点的に支援する「戦略的スマートシティ実装タイプ」を創設する。



【イメージ】
温熱環境シミュレーションに
基づく暑熱対策と効果検証



【イメージ】
スマートメーターを活用した高齢者等の見守り

スマートサービス等を活用した都市開発の海外展開に向けた調査

【目的】

・都市課題に対応するためのデジタル技術と都市開発のノウハウを相互促進的に発信することにより、日本政府・企業が行う都市開発に対する新興国等の関心を高める。

○ タイ・バンコクのクルンテープ・アピワット中央駅周辺地域の3D都市モデルを活用した渋滞・混雑緩和等のシミュレーションを実施し、当該地域における交通等の課題解決策を検討する。この動きにより、当該地域の開発事業への我が国企業の参画を促進する。

○ 令和7年度は、新たにインドネシア・ジャカルタのTOD候補地区の3D都市モデルを構築・活用を図る。

【想定対象地区】



クルンテープ・アピワット中央駅周辺 (タイ・バンコク)

(タイ政府広報局ホームページより)



3D都市モデルPLATEAUを活用した
交通シミュレーション

5. まちづくりDX

(1) 3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化の推進

都市空間情報デジタル基盤構築調査 調査 **18.5億円(1.68倍)**
都市空間情報デジタル基盤構築支援事業 補助 **27.5億円(2.50倍)**

Project PLATEAUでは、2020年から全国で3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化を推進している。

本プロジェクトは5年目を迎え、実装フェーズへ移行したことを踏まえ、3D都市モデルの整備・活用の更なる効率化・汎用化や、防災、暑熱対策等の社会的必要性が高い分野におけるユースケースの開発といった基幹的施策を重点的に進める。また、2027年整備目標500都市に向けて地方自治体における3D都市モデル整備等への支援を拡充しつつ、民間サービス実装等へ支援対象を拡大する。

都市空間情報デジタル基盤構築調査

国によるPLATEAUを駆動させていくための基幹的施策

- | | | |
|---|--|--|
| 1 データ・カバレッジ拡大
モデル整備作業の自動化・効率化、データ形式標準最新化に向けた実務検討 | 2 ユースケース開発
防災、暑熱対策ユースケース開発、外部機関との連携強化、開発ツールの汎用化 | 3 コミュニティ形成
ナレッジ共有やネットワークのためのコミュニティ形成、若年層へのアプローチ強化 |
|---|--|--|



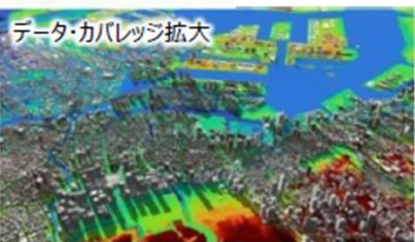
国による各主体の役割を円滑化・促進する環境整備施策

- | | | |
|--|--|---|
| 4 民間/自治体での実装
実装レベルのサービス開発・事業化・提供の促進、ニーズ・シーズマッチングの支援 | 5 地域のデジタルケイパ向上
自治体業務でデータが活用できる人材の育成、地場企業へのモデル整備技術普及 | 6 オープンイノベーション創出
新技術開発やデータ利用環境向上、初心者向けデータ処理技術のOSS開発 |
|--|--|---|



産学官連携によるエコシステム構築

自律的な実装を推進する、国、地方公共団体、産業界、研究機関の連携体制の構築



整備都市拡大のための効率化やBIM等との連携を推進し、標準仕様CityGML3.0への転換も検討。



自治体へ3D都市モデルを活用した課題分析や政策検討の研修、地場企業へモデル整備研修を実施。

都市空間情報デジタル基盤構築支援事業

3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化を推進するための地方自治体への支援

補助対象事業

- 3D都市モデルの整備に関する事業
✓ 3D都市モデルの整備・更新、3D都市モデルの整備等に必要な元データの整備等、作成データを可視化するためのシステム導入・改修等
- 3D都市モデルの活用に関する事業
✓ 3D都市モデルを活用したユースケースの実装に必要な分析・シミュレーションやアプリ開発、政策活用等
- 3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化推進事業
✓ 専門家派遣やワークショップ・ピッチイベントの開催、関連情報のデジタル化やGISシステムの導入・改修等

補助率等

- 通常タイプ 定率1/2
- 早期実装タイプ 上限1,000万円
定額補助※

※ 早期に課題解決や新たな価値創造が図られる事業（事業初年度に限る。）

地域への実装イメージ



3D都市モデルをマインクラフトデータに変換し、子どもたちが自由な発想でまちづくりを検討するアイデアコンペを実施（香川県高松市）

民間サービス等への実装領域拡大

補助対象の拡大

- 民間向け補助事業の創設
✓ 民間主体の3D都市モデルを活用した取組を後押しする「民間サービスタイプ」を創設
- 地方自治体のニーズに応じた補助事業者等の拡充
✓ 広域連合や一部事務組合等の特別地方公共団体や間接補助による整備・活用